

1. 科目名 (単位数)	心理学統計法／心理統計法 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP1141
2. 授業担当教員	八賀 洋介		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「統計学」の単位を履修し、修得していること。「情報処理演習」を履修し取り組んでいること。		
7. 講義概要	心理学を修める上で、統計学の知識は、データを正しく扱い読み取るために必須の教養のひとつである。本講義では、統計学に関する正しい知識を習得するとともに、データを収集し、分析し、結果を読み取る能力を身につけることを目標とする。 本講義は、「統計学」の講義に継続する内容として、実際にデータを収集し、統計ソフト (SPSS) を用いて、「統計学」で習得した記述統計を実施するとともに、各種の統計的仮説検定の実際について学ぶ。		
8. 学習目標	代表的な統計処理について自ら統計ソフト (SPSS) を用いて実践することで、基本的なデータの扱いと読み取り方法を習得する。具体的には、以下の4点を目標とする。 1. 研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができる。 2. データに合った解析法を選択できる。 3. 選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができる。 4. 解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業後にその日の授業内容に関する宿題を課すことを基本とします。講義、演習は前回までの内容を踏まえて行われるため、講義の内容を毎週確実に理解していくように努力をしてください。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】山田剛史・村井潤一郎『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房、2004 【参考書】石村貞夫・劉晨・石村友二郎『Excel でやさしく学ぶ統計解析』東京図書 2019 その他、必要に応じて適宜授業内で資料を配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準： ①研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができるか ②データに合った解析法を選択できるか ③選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができるか ④解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができるか ○評定の方法： 受講態度、演習への取り組み、期末レポートから総合的に評価する。 授業への参加・受講態度：30% 課題達成・レポート：40% 小テスト：30%		
12. 受講生へのメッセージ	心理学では実験や調査などの方法で収集したデータの分析をします。心理学のデータ分析では、統計学の考え方を理解していることが重要です。また、実際にデータを処理するスキルを養うことも重要です。この授業では、授業及び宿題を通して統計の考え方と計算方法を学んでいきます。 Excel の使用を前提とします (必要に応じて SPSS, HAD, js-Star などを使用する可能性があります)。授業は情報処理学習室で実施し、備え付けの PC を使用することを念頭におきますが、Excel の利用については、各自ノート PC を持参して利用しても構いません (Windows OS で説明は進めるため、Mac OS を使用する学生は、差異については自ら解決することを基本としてください)。 統計学の知識内容は山田・村井の参考書の内容に準拠します。講義中によく分からなかったところについては、参考書で内容を確認して復習してください。 授業進行を妨げる行為や他の人の迷惑になる行為、身勝手なふるまいはしないようにしてください。場合によっては、厳しく指導し、出席していても単位取得ができないこともあります。 なお授業内容の進度は履修者の理解度によって変更する場合があります。		
13. オフィスアワー	初回授業時に説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション:なぜ統計を学ぶのか	事前学習	本シラバスの内容を熟読し、本講義の学習内容および受講ルールを把握しておく。教科書を入手しておく。
		事後学習	情報処理学習室の利用方法、利用可能時間を調べ、PC を授業や授業課題のために使える準備をしておく。
第2回	度数分布表、データの分類、代表値、散布度	事前学習	教科書 pp. 28-37 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第3回	標準化と偏差値の求め方	事前学習	教科書 pp. 38-43 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第4回	散布図と共分散、相関係数	事前学習	教科書 pp. 44-59 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。

第5回	母集団と標本	事前学習	教科書 pp. 68-79 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第6回	標準正規分布	事前学習	教科書 pp. 80-89 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第7回	標本分布、不偏性、標準誤差	事前学習	教科書 pp. 90-103 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第8回	統計的仮説検定の考え方	事前学習	教科書 pp. 108-121 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第9回	相関と連関の検定	事前学習	教科書 pp. 122-123, pp. 132-140 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第10回	一つの平均値の検定	事前学習	教科書 pp. 122-131 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第11回	平均値差の検定	事前学習	教科書 pp. 144-161 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第12回	実験計画と分散分析：1 要因被験者間計画	事前学習	教科書 pp. 162-177 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第13回	分散分析：1 要因被験者内計画	事前学習	教科書 pp. 178-183 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	授業の復習をし、授業課題に取り組む。
第14回	分散分析：2 要因被験者間計画	事前学習	教科書 pp. 184-193 及びそれより前のページを読んでおく。
		事後学習	総復習を行い期末試験に備える。
第15回	期末テスト	事前学習	総復習を行い期末試験に備える。
		事後学習	復習を行い知識を定着させる。